

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

## 経産牛(母牛)の肥育による、付加価値の高い精肉及び加工品の開発・販売

畜産業者と地域ブランド豚育成実績のある北部農林高校と協同で経産牛の肥育飼料の基準作りを行い、「おいしい沖縄県産和牛」の生産及びその肉を活用した飲食メニュー及び加工品開発を行う。

### 連携体

**農林漁業者** 山原牧場:嘉陽 学 (農業)

経産牛肥育のための基準飼料の開発及びそれを活用した経産牛の肥育に取り組む。

**中小企業者** 琉風(株) (流通業)、(株)ワールド・ワン (飲食店)

肥育した経産牛を活用した飲食メニュー及び加工品の企画開発・製造を行い、直営店及びネット販売等での販路拡大を図る。

**連携参加者** 北部農林高校

農林漁業者と協同で経産牛を安定的に肥育するための飼料の基準作りに取り組む。

**サポート機関等** 地域活性化支援事務局

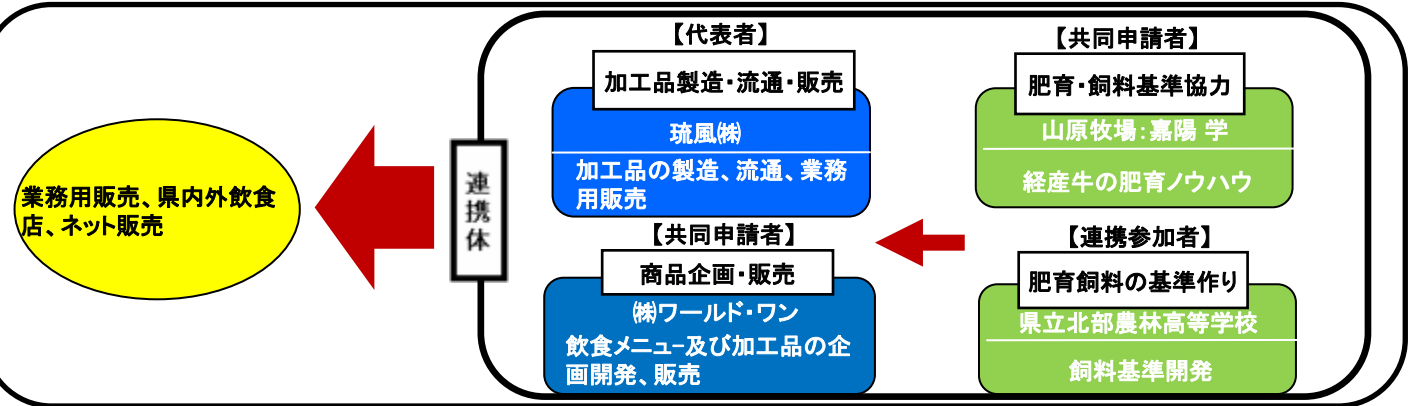
### 連携の経緯

経産牛は市場で安価で取引されている厳しい状況があり、その課題解決のためには肉質の改善が重要であった。肥育ノウハウを持つ山原牧場とブランド豚育成に実績のある県立北部農林高等学校と協同で肥育飼料の開発を行うことで肉質改善の目処がたった。市場とのネットワークを有する琉風(株)をコア企業として飲食メニュー及び加工品の企画開発力及び販売力を持つ(株)ワールド・ワンとの連携を図ることで値ごろ感のある沖縄県産和牛を市場へ提供する計画に至った。



### 連携に当たっての課題や工夫等

安定的な肉質を提供し続けるためには、基準に基づいた肥育飼料の開発がポイント。飼料開発で県立北部農林高校が連携参加し、その意義としても肉質改善飼料作りを課題授業とすることによる生徒の人材育成、地域との一体感、畜産業界のレベルアップに繋がることが期待できる。



### 連携による効果

#### 農林漁業者

5年で約260万円の売上高益増加、保有牛の若返りによる収益拡大

基準飼料を活用した経産牛肥育により、低コストの黒毛和種の牛生産及び保有経産牛の商品化が期待される。

#### 中小企業者

5年で約6,600万円の売上高増加、和牛の安定確保及び販売

肥育した経産牛の活用により、付加価値の高い精肉及び店舗メニューの開発、和牛を活用した値頃感のある加工品の開発が期待される。

### 代表企業等の連絡先

企業等名	琉風 株式会社	所在地	沖縄県那覇市松尾2-7-26
T E L	: 098-860-9622	F A X	: 098-860-9611
E - m a i l	: ryuufuu@world-one-group.co.jp	ホームページ	: <a href="http://www.world-one-group.co.jp">http://www.world-one-group.co.jp</a>